

水度天神宮由緒

高皇産霊神 たかみむすびのかみ

御祭神

和田津美豊玉姫命 わだつみとよたまひめのみこと

当神社は延暦年間（西暦七八二年）
山城 やましろの

国久世郡水度庄寺田郷正四位民 くにくぜぐんみとのしょうてらだごう

部大輔水度長者清重水度天神宮を
創祀し氏神として崇拝す ぶたいふみとのちようじやきよしげ

弘安五年（西暦一二八二年）末裔寺田藤内 とうない

兵衛尉光則近江国坂田郡箕浦郷に
移住し南都興福寺下知霊仙寺公文
所主の任に就く其後四代目寺田豊

前守 ふぜんのかみ 清信 永和二年（西暦一三七七年）江南

野洲郡湯生庄欲賀郷に移住し欲賀
城主欲賀寺公文所の任に就く清信
崇神の念篤く祖先より伝わる護神
水度天神宮の分神を浄光寺境内に
御祠を建て崇拝せり
時移りて御社の狭小なるを思い寺
田同族等の敬神者と相計りて明治
四十二年四月十七日当地に御遷座
し奉りぬ

大祭日は毎年四月二十一日と定む

由緒 平成二十三年奉掲

水度天神宮氏子中